

## 物性研究所へようこそ

皆さんの身の回りにある物質を考えて見てください。気体、液体、固体——また固体の中でも、金属、半導体、プラスチック、宝石、磁石、超伝導体など、さまざまな性質をもったさまざまな種類の物質が数限りなく存在します。物性研究とは、それらの物質がなぜそれぞれの性質を示すのかを基礎から理解し、さらにもっと新しい物質や新しい性質を発見してゆく研究です。



上田和夫所長

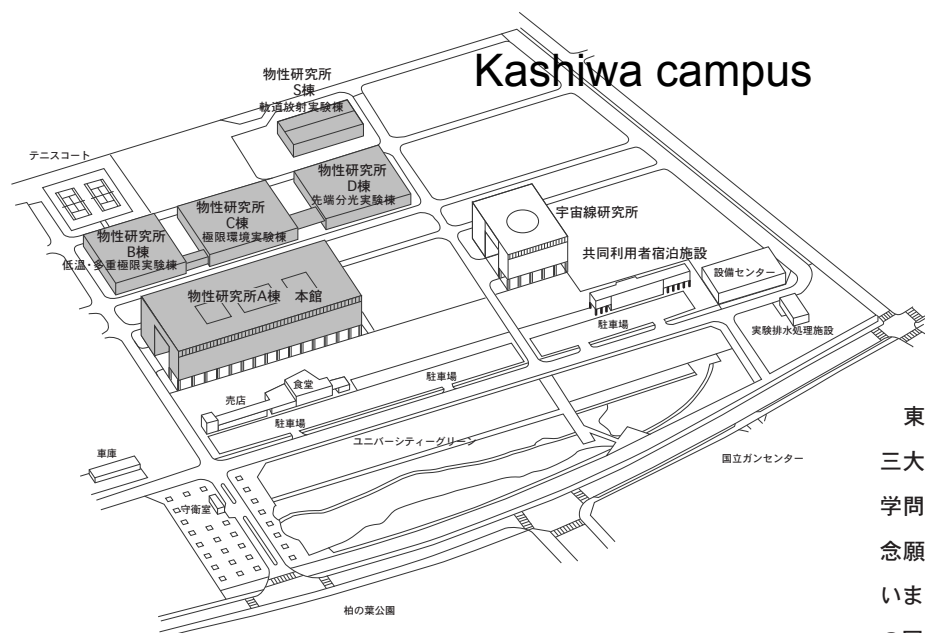
## 物性研究所のあゆみと柏キャンパス

東京大学物性研究所は、わが国の物性研究の中心となる共同利用研究所として昭和32年(1957年)に設立されました。東京都港区六本木キャンパスにおける約40年の間に、物性科学研究に多大の成果をあげ、その存在は国際的にも広く知られています。平成11~12年(1999~2000年)にかけて、柏キャンパスへの移転を東京大学からはじめて行い、ここ柏で再スタートを切りました。



物性研究所(柏キャンパス)

2000



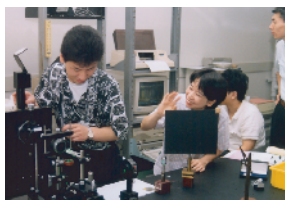
## Kashiwa campus



1963

物性研究所の六本木の研究棟(1963年)

東京大学柏キャンパスは、本郷・駒場と並ぶ東京大学の三大拠点の一つとして計画され、従来の枠を越えた新しい学問領域の創設を理念としています。全国の物性研究者の念願である東京大学高輝度光源施設の建設も予定されています。物性研究所は、その柏キャンパスにおいて、物性科学の国内・国際センターとして一層の貢献を期待されています。



物性研究所は、現代社会の基礎となる高度な科学技術と文化の実現に向けて、物性研究の立場から貢献します。また、地域や社会の人々とのふれあいを通じて、物性研究を身近に感じる文化交流の場となることをめざしています。